

研究主題

すすんで学ぶ子 ～「書くこと」の指導を通して～

- 研究方針
- ・国語科の研究授業を通して研究の成果や課題を共通理解し、教師の授業力向上を図る。
 - ・日々の授業において「たちのスタイル」の共通実践を行い、児童の学力向上を図る。

学習意欲の向上

自分の思いや考えを相手に分かりやすく表現できる姿

子どもの態度の検証・改善

子どもの力の検証・改善

学校評価

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

学力向上プラン 検証問題

重点1

書こうとする意欲を高める

- ・見通しのある学習計画
- ・書きたくなる題材の工夫
- ・必要感のある課題設定
- ・カリキュラムマネジメント

「たちの授業スタイル」の共通実践

- (1) 課題づくり
- (2) 考えをもつ (書く)
- (3) 学び合い (説明する)
- (4) まとめ・適用問題やふり返り (書く)
- (5) 単元のふり返り (書く)

児童の具体的な姿で捉えたゴール設定

- ・何をどのように書かせたいのか
- ・何をどのように説明させたいのか

重点2

書く能力を高める

- ・つけたい力を意識した単元構想
- ・身についた力を見取る評価方法
- ・段階的指導、個に応じた指導
- ・身につけた力の可視化

単元を見通した教材研究 (つけたい力の明確化)

指導改善を進める体制づくり

- (1) 日常的な研究
- (2) 研究授業、事前研、事後研の実施(助言者の招聘)
- (3) OJTの実施

学びを支える学習基盤づくり

- (1) 学び合う学習集団づくり

話す・聴く・反応する
学びの土台づくり

生徒指導の視点を
生かした授業づくり

児童の主体的な取組
による特別活動

- (2) 基礎基本の定着 (漢字・計算)
- (3) 家庭学習の習慣化
- (4) 読書活動の促進・充実

学力向上ロードマップ (学力向上プランの実践・検証・改善)